

2014年度 NPO等助成団体 決定！！

2014年度助成事業応募団体は58団体。5月10日(土)の書類選考会、5月24日(土)には、書類選考通過団体のうち、助成希望金額が多かった8団体に対し面接選考会を実施。当財団理事会にて20団体への助成決定となりました。6月24日(火)には、ろうきん本店にて「2014年度助成金交付式」を行いました。

本事業は、〈ろうきん〉からの寄付金1億円を財源に2003年度から延べ205団体、助成金総額9,952.6万円の助成を行っております。このNPO等市民活動の支援を通して、広く県民福祉の向上をはかることを目的として実施しています。本年度助成を受けた団体のこれからの活躍が楽しみです。以下、助成団体のうち、比較的助成金額の多い5つを紹介します。

■ 助成団体 ■

- ・子どもセンターぽると
- ・NPO法人 骨髄バンク命のアサガオにいがた
- ・NPO法人おりづる
- ・NPO法人新潟マック
- ・チャイルドラインにいがた
- ・みらいずworks
- ・NPO法人新潟ブルーサークル
- ・NPO法人ボランティア亀田
- ・NPO法人NPO魚沼ゆうき
- ・介護の社会化を進める新潟県の会
- ・りてらこや新潟
- ・NPO法人支援センターあんしん
- ・NPO法人子ども・人権ネットCAP・にいがた
- ・青山保安林まもり隊
- ・NPO法人子どものオンパズにいがた
- ・NPO法人elびしょ結屋
- ・NPO法人五泉トゲソの会
- ・NPO法人女のスペース・にいがた
- ・にいがたフェアトレード推進委員会
- ・NPO法人しば草会

■ 子どもセンターぽると (助成金100万円)



当該団体は、新潟県弁護士会が中心となって、虐待その他の理由で行き場のない子供の緊急避難先や共同生活の場を確保し、子ども自身の選択による自立を支援することを目的としています。新潟に「子どもシェルター」を開設、運営するための費用を助成しました。

■ NPO法人 骨髄バンク命のアサガオにいがた (助成金100万円)

当該団体は、公的骨髄バンクを支援し、骨髄バンク事業の普及啓発活動を行い、より多くの患者のいのちを救うことを目的として活動しています。助成金の使途は、難病の血液疾患の患者に付き添う(看病)患者家族が、病院近くに宿泊できる(支援ハウス)の修繕費用としています。

■ NPO法人 おりづる (助成金80万円)

当該団体は、地域活動支援センター、知的障がい者及び精神障がい者の就労支援、2店舗にてランチの提供・弁当配達等を行い各利用者に対し支援をしています。今回の助成金については、平成2



7年をめぐりにサービス事業所(就労移行支援・就労継続支援B型)移行のための施設改修費用として使用します。

■ NPO法人 新潟マック (助成金70万円)

当該団体は、アルコール、薬物、ギャンブル、摂食障害がい、その他の依存症者の社会復帰を援助し、家族等の相談を受け、広く住民の福祉の増進に寄与することを目的としています。助成金使途については、グループホームの老朽化による雨漏り修繕費用の一部として利用することになりました。

■ チャイルドラインにいがた (助成金64万円)

チャイルドラインは、1970年ごろから欧米を中心に子ども虐待に対するヘルプラインとして発足、当該団体は、2001年5月に立ち上がりました。(全国には60団体以上があります。)今回の申請事業は、「自殺相談に関わる体制作りとトレーニングプロジェクト」事業として、自殺防止対策として電話を受けるための知識を付加するための学習会費用、精神的ダメージを軽減するためのフォロー体制の確立と訓練をするための資金です。

■ 助成金交付式の様子

2014年度助成団体が決定し、6月24日新潟ろうきん本店大会議室において「助成金交付式」を執り行いました。それぞれの団体が活動の紹介や助成金使



途について一言いただき、今年度も助成金が有効に利用されることを確信いたしました。

編集後記

財団に勤務し2回目の助成金交付。本事業に応募いただいた団体は、58団体でした。どの団体も志の高い素晴らしい事業内容で個人的には、全部応援したい気持ちでいっぱいでした。ただ予算の関係で…。今年度も新潟県内でこの助成金が有効に使われ、県民の暮らしが豊かになることを切望します。自分は地域社会に何か貢献しているのだろうか… (M.I)



2014年度 NPO等助成事業 助成金交付式